

HP : <http://zenkyokitakyu.on.cocacn.jp> ブログはこちら→<http://blog.goo.ne.jp/zenkyo-kitakyusyuu>

ゆき届いた教育をすべての子どもたちに

教育全国署名 734万9097筆集

一月十六日(金)、全教・教組共闘主催の「2014年度ゆきとどいた教育を求める要請行動」がありました。

まず、参議院会館で公立学校組織や運動団体の意思統一集会がありました。

文科委員の国会議員の話、三つの組織からの決意表明がありました。今回全教加入したことで全教北九州からも発言をする機会をいただき、署名の目標達成、課題は残すが35人学級拡充、青年の活動などの話を述べました。

その後、紹介議員の要請をするために、各県ごとに組を作って行動を行いました。

午後からは、2014年度「ゆきとどいた教育を求める全国署名集約集会」が行われました。

集会には、全国から高校生保護者、教職員がつどい、会場となった日本青年館は30

0人の参加者でいっぱいになりました。

福岡は、私学も合わせて、258757筆。

全国で7349097筆の署名が集まりました。

2015年度も、さらに目標を超える署名を集めていきましょう。



教職員の生活と権利を守ろう！

一月十七日(土) 十八日(日) 全国教育文化会館で「全教 生活権利討論集会」がありました。

まず、基調報告がありました。

安倍「教育再生」攻撃 (1)教育委員会制度の改悪 (2)道徳の教科化 (3)小中一貫教育 (4)学校統廃合の促進 (5)「高大接続」 (6)教職員定数削減。財務省、総務省の状況、教職員をはじめ公務労働者の賃金・労働条件をめぐる動き、そして、15春闘をめぐる情勢と重点課題と中身の濃い報告でした。

次に「男女ともに生き生きと働き続けられる権利の確立を」の提起、午後からは、**教職員評価と賃金・処遇へのリンク問題**と言う北海道高教組の報告がありました。

その後、臨時教職員問題の要求前進に向けてというテーマで報告がありました。

「教育に臨時はない・・・この願いをすべての教職員の共通のものにしたい。「採用試験に合格しないわたくしが悪い」という「自己責任」論で、守られているのは誰か。教職員が「粗末に扱われる時代」に子どもが幸せであった歴史はありません。」と締めくくられました。

二日目は、分教会があり「京都における賃金確定闘争について」と「山梨高教組の長時間勤務の縮減への取り組み」「富山高教組の賃金確定の取り組み」の三つの報告を聞いてきました。いずれも、職場を基礎に、地域労働運動と連動し、成果を勝ち取ったという報告でした。

これらの報告から、一年を見通した闘いを組んでいく必要性和そのノウハウをしっかりと学んだ二日間でした。

これを受け、15春闘要求書を現在作成中です。(N)

